

2024年度自己評価表【保育教諭】

A: そう思う B: ややそう思う C: あまり思わない D: そう思わない

		項 目	A	B	C	D	無記入
1	保育計画・環境	園のキリスト教保育の理念や教育・保育方針を理解し、保育・教育にあたっている。	35	57	4	0	4
2		保育計画は、教育目標を活かして作成している。	23	46	4	0	27
3		保育計画は教職員間で話し合いを行ない、子どもが主体的に活動できるような計画になっている。また、保育計画は必要に応じて見直されている。	35	46	4	0	15
4		屋内・外の保育環境を常に清潔に保ち、整理整頓を心がけ、安全で心地よい環境で保育ができるように努めている。	27	65	8	0	0
5		総合学院内にある園であることを活かし、学院内の施設や環境を活用している。	30	54	4	0	12
6		子どもの主体的な遊びの時間を十分に確保している	50	38	8	0	4
7	園児への関わりと保育者の役割	子ども一人ひとりの人格を尊重し、子どもの思いをに受け止めた保育をを心がけている。	54	42	4	0	0
8		物事を強要するような言葉かけでなく、子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで話をしている。	27	69	4	0	0
9		差別的なかわりをせず、一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮したかわりをしている。	65	27	8	0	0
10		暴力的な行動によって指示に従わせたり、指示に従わないことに感情的になり罰を与えたりしていない。	81	19	0	0	0
11		子どもの発達段階や、興味・関心に応じた保育・教育を心がけている。	38	58	0	0	4
12		子ども同士の関わりの中で、様々な社会的ルールや人とのかわりを身に付ける配慮をしている。	54	46	0	0	0
13		保育の質の向上のために、研修会等に積極的に参加している。学んだことを自分の保育の中へ活かしたりするように努めている。	12	42	31	12	3
14		保護者に子どもの様子を丁寧に伝えることができています。	30	63	0	0	8
15	保護者との連携	基本的生活習慣など子どもの発達を考慮し、家庭と連携し状況に応じて対応している。	31	46	4	0	19
16		保護者の子育ての悩みや相談、また寄せられた具体的な要望や意見に、適切に対応している。	19	58	4	0	19
17		園は保護者にお便りやホームページなどで園の情報を適切に伝えることができています。	54	42	0	0	4
18		園は未就園児に対して、園庭開放や園に関する情報を発信している。	38	46	4	4	8
19	地域との連携	園は地域の方に園の方針などに関心を持ってもらい、理解していただけるように努め、地域の方々との交流を大切にしている。	27	50	15	0	8
20		それぞれの関係機関と連携を取り合い、情報を提供しあったり、指導してもらったりしている。	26	50	12	0	12
21	運営管理	園児や保護者また同僚のことを園の外で話題にしない。（守秘義務の徹底）	88	12	0	0	0
22		保護者や地域の方など周囲の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	62	34	0	0	4
23		教職員間で、子どもに関する必要な情報や各対応マニュアル・ヒヤリハット等 情報・連絡事項を共有している。	58	38	4	0	0
24		事故災害時や感染症・アレルギー対応等のマニュアルを理解し、すぐに対応できるように備えている。	42	46	12	0	0
25		職場内は、仕事（保育や勤務等）について、相談できる環境にある	50	50	0	0	0
アンケート集計結果: 保育教諭【27名】 回答率【100%】							
A: そう思う・・・42% B: ややそう思う・・・46% C: あまり思わない・・・5% D: そう思わない・・・1%							
無記入・・・6%							

2024年度自己評価表【職員系】									
A：そう思う B:ややそう思う C:あまり思わない D：そう思わない									
		項 目	A	B	C	D	無記入		
1		園のキリスト教保育の理念や教育・保育方針を理解して勤務している。	71	29	0	0	0		
2		共に働く一人ひとりの人格を尊重すること、職場の環境を整えるなど安全で心地よい環境で勤務ができるように努めている。	100	0	0	0	0		
3	園児への関わり	子ども一人ひとりの人格を尊重し、子どもの思いをに受け止めたかかわりを心がけている。	100	0	0	0	0		
4		物事を強要するような言葉かけでなく、子どもにわかりやすい温かな言葉遣いで話をしている。	100	0	0	0	0		
5		差別的なかわりをせず、一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮したかわりをしている。	100	0	0	0	0		
6		暴力的な行動によって指示に従わせたり、指示に従わないことに感情的になり罰を与えたりしていない。	100	0	0	0	0		
7		子どもの発達段階や、興味・関心に応じた対応を心がけている。	86	14	0	0	0		
8	運営管理	園は保護者にお便りやホームページなどで園の情報を適切に伝えることができている。また、未就園児に対して園庭開放や園に関する情報を発信している。	72	14	14	0	0		
9		園児や保護者また同僚のことを園の外で話題にしない。（守秘義務の徹底）	71	29	0	0	0		
10		保護者や地域の方など周囲の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	72	14	0	0	14		
11		教職員間で、子どもに関する必要な情報や各対応マニュアル・ヒヤリハット等 情報・連絡事項を共有している。	72	14	0	0	14		
12		事故災害時や感染症・アレルギー対応等のマニュアルを理解し、すぐに対応できるように備えている。	100	0	0	0	0		
13		職場内は、仕事（保育や勤務等）について、相談できる環境にある	100	0	0	0	0		
アンケート集計結果: 職員系【7名】 回答率【100%】									
A:そう思う・・・88% B:ややそう思う・・・9% C:あまり思わない・・・1% D:そう思わない・・・0%									
無記入・・・2%									

自己評価公表シート(2024年度)

認定こども園 ルーテル学院幼稚園

1. 本園の教育目標

「神と人から愛され、ただし、明る、元氣な子ども」を育む。

2. 本園の教育・方針

- キリスト教主義による人間形成に重きをおきながら、0歳から就学前までの子どもに一環した教育・保育を行う。「神と人から愛され、ただし、明る、元氣な子ども」になって欲しいとの願いをこめ、一人ひとりの子どもを大切にする教育・保育を進める。
- さまざまな環境を通して豊かな遊びの中で、創造性、自主性、社会性を育てる。
- 恵まれた環境の中で、全身を使った豊かな遊びから年齢に応じた「からだづくり」を行い、『食生活』を重んじ、基本的生活習慣を身につける。
- 友だちや保育者との関わりから、国籍・興味・発達など一人ひとりの違いを受け入れ、自分よりも小さな(人だけでなくすべてのもの)他者に対しても思いやりのある心を持つ子どもに育てる。
- 豊かな絵本との関わりを大切にし、様々な出来事の中で感じたり、考えたりしたことを素直に表現することができる子どもを育てる。

3. 評価により見えてきた現状と課題

保育計画・環境	- 園の理念、方針は職員全体に理解され、保育計画、実践に概ね活かされていると考えているが、評価の数字を見ると園として教職員に理念・方針を繰り返し伝えていく必要がある。 - 子どもが主体的に遊ぶための環境を整えるよう心掛けているが、子どもの活動に合わせた繰り返しの保育計画の見直しが必要である。 - 子どもの興味・関心を深めるための環境づくりには室内・園庭ともに更に工夫が必要である。特に園庭に関しては、話し合いの場を設け具体的に取り組んでいかなければならない。 - また環境については繰り返しの見直しが必要である。
園児への関わりと 保育者の役割	- 保育者、職員はそれぞれキリスト教保育の精神に基づき、子ども一人ひとりを大切に受け止め丁寧な関わりをすることに努めている。また、子どもの個性を理解し、個々にあった関わりをすることようを心掛けていくようにする。 - 子どもの主体性を大切にし、一方的に教えることよりも体験をすることに重きを置いた教育・保育を心掛けている。 - 物事を強要するような言葉遣いや行動に気を付け、不適切な保育にならないよう努めている。(チェック表を用いてセルフチェックをする) - 研修会にはできる限り参加できるよう努めている。しかし職員間に共有するま

	でに至っていない部分もある。園内研修も含め、保育者の質の向上に向けて学びの機会を得られるようにしていく必要がある。
保護者との連携	・年2回の個人面談（希望者のみ）や学期ごとに保育参観を行い、保護者に来園してもらい子どもの様子を伝える機会を設けた。保護者からの相談は、傾聴するよう心掛けている。 ・園からの発信としてクラスだよりやHP等を用いているが、保護者から内容が伝わりにくいといった指摘もあった。今後もできるだけ、わかりやすく子どもの様子を伝えていくようにしたい。 ・未就園児への情報発信の仕方を検討する必要がある。
地域との連携	・地域との交流においては希薄であるが、総合学院の施設として小中高大との連携を持っている。 ・未就園児のための親子活動「こひつじの会」は、活動を通して子育て世代の保護者の交流の場となっている。今後も継続していくと共に、地域の中の子育て支援を担っていくようにする。 ・子どもたちの成長を支えるため、専門機関や関係機関との連携が増えつつある。今後も継続していきたい。
運営管理	・守秘義務の徹底、園長への報告、連絡、相談は速やかに行われている。 ・安全、衛生管理の徹底という点では、職員一人ひとりが意識している。 ・職員が一度に集まるのが難しく、共有すべき情報が浸透していないことがあるため、職員間の連絡ノートをつくる等の工夫をしている。 ・各マニュアルは職員間で共通理解しているつもりだが、スムーズな対応できるよう訓練を行い、見直したりする必要があると感じた。

※ 本園では、保育教諭・看護師・調理員・事務職員など様々な職種また常勤・非常勤といった働き方の違いはあるが、全ての職員が園生活を過ごす子どもたちにかかわっている。教職員は、自己評価を通し「A、そう思う」「B、ややそう思う」と多くが回答しており、園の理念や教育方針を理解し子どもたち一人ひとりに寄り添う丁寧な保育を心がけている。

「保育の質の向上のために、研修会等に積極的に参加している。学んだことを自分の保育の中へ活かしたりするように努めている。」の項目で、自己評価を「C、あまり思わない」「D、そう思わない」と記入している保育者もいるが、今後も研修等への参加また日々の保育の振り返りから、自身の学びに繋げていき質の向上を目指したい。